



## 令和8年 はたちの集い 感謝を胸に、新たな門出

1月11日(日)、文化会館で「はたちの集い」が開催されました。会場は、旧友や恩師との久しぶりの再会を喜ぶ参加者や、我が子の晴れ姿に笑みをこぼす保護者など、たくさんの笑顔であふれました。

式典では、大<sup>すきたくと</sup>部市長をはじめとする参列者から、お祝いのメッセージが贈られました。参加者を代表して、鈴木拓斗さんが答辞を述べ、これまで支えてくれた人たちへの感謝の言葉や、はたちを迎えての抱負など、新たな決意を表しました。

2005.4/2生  
～2006.4/1生  
出席者  
173人



はたちの集い開催に当たり、多くの企業・団体様にご協賛いただきました。厚く御礼申し上げます。

- 高萩ロータリークラブ
- 高萩ライオンズクラブ
- 株式会社 南悠商社
- 松久保及び手綱工業団地 経営協会
- 一般社団法人 高萩青年会議所

(順不同)



# 15歳の私へ ← はたちの私から

中学校を卒業する頃、15歳の自分を振り返ってみると…？  
はたちを迎えた皆さんに、15歳のときの自分の振り返りと、  
将来の目標について聞きました。

## 実行委員長 阿部 海里 さん

私は15歳のときに陸上競技（長距離）を始め、現在も続けています。それまでは、8歳のときに始めたサッカーをしていました。将来の目標は、県選手権（3000メートル障害）で優勝すること、水戸ホーリーホックがJ1優勝する瞬間を見ることです。

最後に、これまでたくさんの方々にお世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

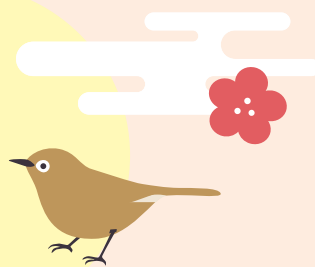


## 副実行委員長 手塚 大智 さん

15歳の頃を振り返ると、色々な方に支えられて高校生になれ、そして今があると思います。

中学生の自分は親や先生がやってくれて当たり前だと思っていました。ですが、それは当たり前ではなかったということに高校生になってから気づき、支えてくれた人たちへ感謝したいと思いました。

これからは、何事にも感謝の気持ちを持ち、生活していきたいです。



## 副実行委員長 中島 翼 さん

中学生の勉強の努力のおかげで高校に無事入学することができました。そして、続けてきた野球も3年間高校で行い、そこで、礼儀や気遣い、忍耐力を十分に身に付けることができました。これらの始まりは中学校3年生からだと思っています。

これからは身に付けてきたことをさらに極め、より立派な大人になっていきたいと思っています。



## 副実行委員長 黒木 懸太 さん

素直に生きることです。15歳の頃は愛する家族や音楽、友人関係が明確になる年かなと思います。悩むことも多少はあると思いますが、それでいいんです。

自分は素直にそのままに愛するものを愛して、嫌いなものは嫌いと言いましょ。そうすれば、支えてくれる人も現れますし、自分も心から彼らに向き合うことができると思います。感謝を忘れずに。

